

# シバムギ (英名: Quackgrass)

シバムギ属

略号: QG



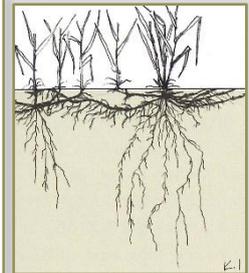
手前の色の濃い草がシバムギ

穂の形状  
(「牧草・毒草・雑草図鑑」より写真転用)

## <特徴>

- 収量はチモシーと比べて約3割も少ない上に倒伏しやすい
- 生長が旺盛で、栄養吸収力が強く強害雑草に分類
- 繁殖は種子と根茎
- 地下 10~15 cmの層に水平に広がる長い根茎を持つ。そこからまばらに発生する地下茎の節から発根・萌芽する
- 地下茎を切断してもそこから萌芽し、他の雑草を寄せ付けないほど繁殖力が強い
- アレロパシーを持つ
- 出穂はチモシー晩生品種並み
- サイレージ化の際 pH が低下しにくいため発酵品質が低下しやすい
- サイレージ中の溶解性タンパクとカリウムが高いため乾乳牛には飼料の調製が必要

- 収量低下
- 嗜好性低下
- 成分注意
- 地下茎あり
- 選択性  
除草剤なし



根茎系が1シーズンに1mも外に伸びる  
(「多年生雑草対策ハンドブック」より)

## 見分けるポイント



左がシバムギ。右はチモシー。穂の形状が違う



シバムギは茎が細い。右はチモシー



葉舌がなく、葉耳がある



毛の有無は亜種



地下茎を持ち、一定間隔を保ちながら萌芽する  
※「植調雑草大鑑」より写真転用

## 侵入の特徴・防ぎ方



侵入は、ほ場の端、もしくは収穫時のダンプの走行溝が大きく沈み土が露出した部分から始まる。

侵入予防のため、刈高 10 cm でチモシーを収穫し、収穫後 10 日以内に十分な施肥を行う。草地更新時は、前植生と耕起・整地後に枯殺処理を行うことが推奨される。